

別表2

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
協同組合フォレスト西川	準不燃材料	四ほう酸ナトリウム系薬剤処理／ すぎ板	平成20年7月11日	QM-0570	【質量】認定仕様は $9.60 \pm 0.96(\text{kg}/\text{m}^2)$ であるが、製品は $6.66(\text{kg}/\text{m}^2)$ であった。 【密度】認定仕様は $640 \pm 64(\text{kg}/\text{m}^3)$ であるが、製品は $397(\text{kg}/\text{m}^3)$ であった。	実績なし
日本プaster(株)	不燃材料	消石灰質系塗材 塗・セメント系塗 材塗／不燃材料 (金属板を除く)	平成18年4月12日	NM-1255	【セメント系塗材(下塗り材)】認定仕様は有機質繊維(ポリアミド系)であるが、製品は有機質繊維(アクリル樹脂系)であった。	約7棟 (住宅)
(社)カーテン ウォール・防火開 口部協会(三協 立山アルミ(株))	防火設備	アルミニウム合金 製引き窓(アルミ 樹脂複合構造)	平成14年2月1日	EB-9112	【機構】認定仕様は火災時に樹脂材が軟化、熔融してもガラスが脱落しない機構であるが、製品はガラスが脱落しない機構となっていなかった。	約7,000 棟 (戸建住 宅等)
旭物産(株)	防火設備	網入板ガラス入 アルミニウム合金 製引違い2連窓	平成16年11月4日	EB-0205	【戸車(固定戸車)】認定仕様はポリアセタール樹脂であるが、製品はステンレス鋼板であった。	1棟 (店舗)
飯田ウッドワーク システム(株)	防火設備	複層ガラス入木・ アルミニウム合金 複合製はめ殺し 窓	平成17年7月13日	EC-0023	【留め付け材(押縁取付チャンネル材用)】認定仕様は長さ55mmであるが、製品は32mmであった。 【留め付け材(ガラス脱落押さえ用)】認定仕様は長さ55mmであるが、製品は45mmであった。	実績なし
清水サッシ(株)	特定防火設備	耐熱板ガラス入 鋼製両開き戸	平成19年6月28日	EA-0241	【ガラスシーリング材】認定仕様はシリコン系シーリング材(JIS A 5758(耐久区分9030G相当))であるが、製品はシリコン系シーリング材(JIS A 5758(耐久区分9030相当))であった。	実績なし
湯田木工(株)	防火設備	複層ガラス入木 製両開き戸	平成20年7月25日	EB-0378	【戸当たりゴム】認定仕様はEPDM製($70 \pm 5\text{g}/\text{m}$)であるが、製品は熱可塑性エラストマー($60 \pm 5\text{g}/\text{m}$)であった。 【くつずり枠上ゴム】認定仕様はEPDM製であるが、製品はPVC製であった。 【留付け材(ガラス額縁(室内側)用)】JIS B 1112には直径2.6mm×長さ30mmの寸法は存在しないが、認定書に直径2.6mm×長さ30mm(JIS B 1112)と誤って記載した。 【留付け材(枠材用)】JIS B 1112には直径4.2mm×長さ65mmの寸法は存在しないが、認定書に直径4.2mm×長さ65mm(JIS B 1112)と誤って記載した。	実績なし
(株)面川建機製作 所	特定防火設備	耐熱板ガラス入 鋼製はめ殺し窓 2段3連窓	平成16年8月26日	EA-0136	【セッティングブロック】認定仕様は $6 \times 12 \times 50\text{mm}$ であるが、製品は $6 \times 10 \times 40\text{mm}$ であった。	13棟 (事務 所、工場 等)
		セシウムーカリウ ムけい酸系強化 ガラス入鋼製は め殺し窓	平成18年10月19日	EA-0215	【セッティングブロック】認定仕様は $6 \times 12 \times 50\text{mm}$ であるが、製品は $8.4 \times 10 \times 40\text{mm}$ であった。	14棟 (事務 所、工場 等)
日本電気硝子(株)	防火設備	ガラスブロック製 はめ殺し窓	平成15年7月7日	EB-0149	【上枠・下枠・縦枠】認定仕様は厚さ1.5mm以上であるが、製品は1.1mmの部分があった。 【溝目板】認定仕様は厚さ1.5mm以上であるが、製品は0.9mmの部分があった。	実績なし

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
シー・ティ・エス(株)	防火設備	網入板ガラス入木製内開き内倒し窓	平成13年12月25日	EB-0065	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は2.0mmであった。	実績なし
		網入板ガラス入木製横軸すべり出し窓		EB-0051	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は2.2mmであった。	
		網入板ガラス入木製引違い窓		EB-0093	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は2.0mmであった。	
		網入板ガラス入木製両開き窓		EB-0079	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は2.3mmであった。	
		複層ガラス入木製はめ殺し窓		EB-0037	【押縁用ねじ】認定仕様は留付間隔が横260mm以下、縦260mm以下であるが、製品は横275mm、縦285mmの部分があった。	
プレステ(株)	防火設備	複層ガラス入木製外開き窓(はめ殺し窓付)	平成15年7月7日	EB-0148	【釘(ガラス押さえ金物固定用)】認定仕様は直径1.7mm以上×長さ25mm以上であるが、製品はねじ直径2.0mm×長さ20mmであった。 【ガラス】認定仕様の複層ガラスの構成は、屋内側より、網入り板ガラス、フロート板ガラス、網入り板ガラスであるが、製品は、屋内側より、フロート板ガラス、網入り板ガラス、フロート板ガラスであった。	実績なし
(株)川上製作所	防火設備	網入板ガラス入木製引違い窓	平成13年12月25日	EB-0091	【ガラス押さえ】認定仕様はシーリング材の使用量が $170 \pm 1g/m$ であるが、製品は約 $27g/m$ であった。 【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は1.5mmであった。	実績なし
(株)アイランドプロファイル	防火設備	網入板ガラス入木製横軸すべり出し窓	平成13年12月25日	EB-0047	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は1.6mmであった。	約40棟 (戸建住宅)
		網入板ガラス入木製両開き窓		EB-0075	【熱膨張材】認定仕様は厚さ3.0mmであるが、製品は1.6mmであった。 【丁番】認定仕様は長さ120mm4本であるが、製品は長さ90mm3本であった。	約50棟 (戸建住宅)
スウェーデンハウス(株)	防火設備	複層ガラス入木製横軸すべり出し回転窓	平成17年9月27日	EB-0283	【釘(建具枠固定用ステンレス製)】認定仕様は長さ70mmであるが、製品はステープル長さ65mmであった。	912棟 (戸建住宅)
		木質系片開き戸	平成18年11月8日	EB-0328	【加熱発泡剤】認定仕様は厚さ2.5mmであるが、製品は2.0mmであった。	318棟 (戸建住宅)
		複層ガラス入木製横軸すべり出し回転2段窓	平成19年1月24日	EB-0332	【くぎ(障子枠固定用)】認定仕様は長さ70mmであるが、製品はステープル長さ65mmであった。	37棟 (戸建住宅)
(株)フォリス	特定防火設備	木製片開き戸	平成14年5月22日	EA-9051	【中棧】認定仕様にはない中棧が使われていた。	9棟 (ホテル、集合住宅等)
(株)レポール	防火設備	複層ガラス入塩化ビニル樹脂製はめ殺し窓	平成16年1月9日	EB-0169	【ねじ(補強材留付用)】認定仕様は長さ16mm以上であるが、製品は8mmであった。 【ガラス押え】性能評価試験はそれぞれ長さ $16 \times 8.5 \times 1.6mm$ 、長さ $30 \times 18 \times 1.6mm$ であったが、認定書にそれぞれ長さ $16 \times 14.5 \times 1.6mm$ 、長さ $38 \times 18 \times 1.6mm$ と誤って記載した。(製品はそれぞれ長さ $16 \times 8.5 \times 1.6mm$ 、長さ $30 \times 18 \times 1.6mm$ であった。) 【セッティングブロック】性能評価試験は幅16mmであったが、認定書に幅20mmと誤って記載した。(製品は幅16mmであった。)	3棟 (ホテル、戸建住宅)

認定取得者名	構造方法等の種類	名称	認定年月日	認定番号	内容	使用実績
ユニチカ設備技術(株)	特定防火設備	両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成19年3月14日	EA-0233	<p>【ボルト・ナット】認定仕様はボルト長さ50mmであるが、製品は長さ40mmであった。</p> <p>【ケース補強材】認定仕様は口40×40×1.6mmであるが、製品は口30×60×1.6mmであった。</p> <p>【ガイドレール】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p> <p>【座板 (本体)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p> <p>【座板 (芯材)】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)厚さ2.3mmが使われていた。</p> <p>【ケース】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p> <p>【カバー】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12(SGH400,SGHC)又はSGHC相当鋼)が使われていた。</p>	約240棟 (共同住宅、事務所等)
		両面エチレン酢酸ビニル系樹脂塗装シリカクロス製スクリーン	平成19年7月19日	EA-0242	<p>【ケース】認定仕様は150×120以上mmであるが、製品は230×120mmであった。</p> <p>【ガイドレール】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400)が使われていた。</p> <p>【座板 本体】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400)が使用されていた。</p> <p>【座板 芯材】認定仕様でない溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3302 Z12,SGH400)が使用されていた。</p> <p>【巻取りシャフト】認定仕様は一般構造用炭素鋼管(JIS G 3444)厚さ2.3mmであるが、製品は機械構造用炭素鋼管(JIS G 3445)厚さ2.0mmであった。</p> <p>【浮上り防止ストッパー】認定仕様は一般構造用圧延鋼材(JIS G 3101,SS400)であるが、製品は冷間圧延ステンレス鋼板(JIS G 4305,SUS304)であった。</p>	約220棟 (共同住宅、事務所等)